

優先整備路線の検証について

1 概要

(1) 目的

小金井都市計画道路3・4・1号線及び3・4・11号線外(以下「2路線」という。)は、将来都市計画道路ネットワークの検証により必要性が確認され、東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)で優先整備路線に選定された。2路線が整備方針に示されたことを契機に、環境等への影響に関する懸念などが高まり、市民及び市議会から多数の意見が寄せられている一方で、防災性確保等の必要性も指摘されるなど、様々な意見が寄せられている。事業について施行者に要望するためには、関係自治体に根拠を明確にして説明することが求められる。

そのため、都市環境、地域的な課題等も加えた評価手法により、当該2路線の事業に係る必要性及び合理性について検証することを目的とする。

(2) 検証の進め方

1次検証では、都市計画道路の役割及び機能の観点から必要性を検証し、2次検証では、本市固有の地域的な課題等の観点から検証する。検証に当たっては、国及び自治体の都市計画道路見直しの考え方を参考に検証手法を検討する。

また、市民意向を把握し、評価項目に市民の意見を反映させるとともに、適宜、建設環境委員会に進捗状況を報告する。

なお、都市計画に関する事項の検証であるため、公正かつ専門的な第三者の意見を踏まえることが重要であることから、都市計画に関し各種の提言を行うことが法令上期待されている都市計画審議会に意見を求めることとする。

ア 工程表

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
背景の整理	位置付け・経過等の整理											
検証手法の整理	評価手法の検討、決定		評価シートの作成									
1次検証	現況及び整備状況の整理				指標を基にした都市計画道路の評価 交通流動面から見た評価の実施							
2次検証	評価項目・評価基準の検討及び評価								評価シートのまとめ			
市民意向調査	既往アンケートの活用検討			対象及び調査(検討中)								
都市計画審議会	検証方法案					検証結果案						

※ 建設環境委員会に進捗状況を報告(報告・意見)

※ 作業内容、作業工程については予定であり、変更になる場合がある。

イ 作業内容

① 背景の整理

- ・優先整備路線2路線の位置付けの確認
- ・都市計画マスタープランの位置付け
- ・事業の経過、背景等の整理

② 検証手法の整理

- ・都市計画道路の見直し検証事例（国土交通省及び全国自治体）の収集
- ・評価手法の比較検討、決定
- ・項目設定に関する課題抽出
- ・評価シートの作成（定量的及び定性的）

③ 1次検証

- ・現況調査及び整備状況等の整理
- ・役割、機能等による必要性の評価
- ・交通流動面から見た評価の実施

④ 2次検証

- ・地域の実情を踏まえた優先整備路線2路線の評価
- ・市民意向調査、都市計画審議会及び議会の意見反映
- ・課題に関する対応策の検討等

⑤ 市民意向調査

- ・評価項目に関する市民意向の把握
- ・既往アンケート調査（令和2年）の活用の検討
- ・新規ヒアリングの実施
（団体：環境、教育、障がい者、高齢者、子育て、防災、事業者等／個人：地域住民等）

⑥ 都市計画審議会

- ・検証方法案を報告
- ・1次検証結果案、2次検証結果案及び市民意向調査結果を報告

(3) 総合的判断

1次検証結果、2次検証結果、市民意向調査結果及び都市計画審議会の意見を踏まえ、総合的に判断

2 検証手法案

(1) 1次検証

委託業者の知見を活用し、都市計画道路の役割及び機能から2路線の必要性を検証する。

ア 評価項目リストを作成

- ・第四次事業化計画を踏まえるとともに、独自の視点を加えて20項目程度の評価項目を作成する。

イ 重み付け（ポイント配分）

- ・市民、市議会議員、関係職員等へのアンケートにより重み付けを決定する。

■必要性評価の考え方（重みづけ）

大項目	中項目	小項目	重要度			大×中×小 ×100	重み
			大	中	小		
交通機能	通行機能	骨格幹線道路網の形成	○.○	○.○	○.○	○×○×○×100	○
		ネットワークの形成			○.○	○×○×○×100	○
		円滑な物流の確保			○.○	○×○×○×100	○
		交通結節点へのアクセス向上			○.○	○×○×○×100	○
		救急医療施設へのアクセス向上					
		□□□□□□□□					
	□□□□□□□□						
	□□□□□□□□						
空間機能	都市環境の保全	良好な都市空間の創出	○.				
		緊急輸送道路の拡充					
	防災機能	避難場所へのアクセス向上					
		延焼遮断帯の形成					
		災害時の代替機能					
	収用機能	公共交通の導入空間				○×○×○×100	○
□□□□□□□□					○×○×○×100	○	
都市の多彩な魅力の演出・発信			○.○	○.○	○.○	○×○×○×100	○
□□□□□□□□			○.○	○.○	○.○	○×○×○×100	○
合計						100	

検討中

※ 記載されている評価項目はイメージであり、今後検討を進める。

※ 「○」には数値が入る。

ウ 評価基準の設定

- ・評価基準を検討し、路線ごとに評価を行う。

(2) 2次検証

2路線固有の課題を踏まえ、必要性及び合理性について検証する。

ア 検討手法の事例収集及び調査の結果

- ・国土交通省の手引き及び他自治体の検証手法を調査したところ、検証項目に環境、歴史、文化等視点も加え、定性的な手法により検証していることが分かった。

イ 検証手法の検討

- ・ 2 路線固有の課題を踏まえ、他自治体の事例を参考に本市独自の定性的検証方法を検討する。
- ・ 必要性（整備による効果の視点）及び合理性（整備による影響の視点）の両面から検討する。
- ・ 必要性及び合理性の評価項目は、ヒアリング等を実施し市民の意向に沿ったものとする。

■ 必要性（整備による効果の視点）

評価項目（例）		評価
交 通 機 能	周辺道路の交通渋滞	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>検討中</p> <p>※ 記載されている評価項目はイメージであり、今後検討を進める。</p> </div>
	生活道路への通過車両の進入	
	震災時の避難路の不足	
	広域避難場所へのアクセス性の確保	
	□□□□□□□□□□	
	□□□□□□□□□□	
□	□□□□□□□□□□	
□	□□□□□□□□□□	
機 能	□□□□□□□□□□	
	□□□□□□□□□□	

■ 合理性（整備による影響の視点）

評価項目（例）		評価	
自 然 環 境	国分寺崖線	生物	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>検討中</p> <p>※ 記載されている評価項目はイメージであり、今後検討を進める。</p> </div>
		緑化	
		湧水	
		□□	
		□□	
	野川	生物	
		治水	
		□□	
		□□	
	公園	生物	
		自然再生	
		景観	
		□□	
文 化	生活	コミュニティ	
		□□	
	歴史	文化財	
		遺跡	
		□□	
□□	□□		